

「遅刻をしない」

先日、6月1日より企業説明会が解禁となり、大学生の就職活動がスタートしました。中学生の皆さんにはあまりピンとこないかもしれませんが、今日は皆さんに就職に関してクイズを出したいと思います。先生がある大企業で人事担当の仕事をしている友達から聞いた話ですが、その企業では社員を採用するにあたって

- ① 遅刻をするタイプの人
- ② 掃除など身の回りの整理ができないタイプの人
- ③ 人の目を見て挨拶ができないタイプの人

の3つのタイプの人がいれば、絶対に採用しないタイプの人があります。どのタイプの人も社会人としては大きな欠点があると思いますが、その中でも特に困るタイプがあるのです。どのタイプの人か分かりますか？

答えは①の「遅刻をするタイプの人」です。

何故だか分かりますか？この理由がなかなか深いんです。

結論から言うと遅刻をする人はあまり成長が期待できない人が多いそうです。遅刻する人は心の中で「少し位遅れてもいいだろう」「この位でいいだろう」と自分勝手に基準やルールを決めて行動する人が多いそうです。遅刻が多い人は心当たりがないですか？

そうすると、いくら大切なことや新しいことを教えても素直にそれをせずに、しんどくなったり、面倒くさくなれば「この位は」と自分のルールや基準で努力をやめてしまうのです。企業としては伸びない人をわざわざ給料を払ってまで採用しようとは思いませんよね？

又、遅刻をする人は高校や企業を途中でやめるタイプの第1位だそうです。途中でやめる人も採用したくないですよ？

先生の長い教師生活を振り返ってみても、遅刻の多かった生徒はいつまでたってもだらしない生活が続けることが多く、成人式後の同窓会などでもあまり良い噂は聞かなかったケースが多いです。

どうですか？たかが遅刻ですが、これからの人生の足を引張る大きな原因となるのです。

遅刻の多い人は中学校の間にこの悪い癖を直してください。校長先生からのお願いです。